

令和8年度入学生対象

別記様式1

主専攻プログラム詳述書

開設学部（学科）名〔 文学部人文学科 〕

プログラムの名称（和文）	欧米文学語学・言語学プログラム
（英文）	British, American, and European Languages and Literatures, and Linguistics
1. 取得できる学位 学士（文学）	
<p>2. 概要</p> <p>欧米文学語学・言語学プログラムでは、21世紀に相応しい文化多元主義の観点から、英米文学語学・ドイツ文学語学・フランス文学語学、及び諸言語の言語要素をより重視した言語学の研究を行い、語学力の養成や、言語表象文化の多様性と多元性を通し、世界の文化体系を複眼的に把握できる国際性や人間性の豊かな人材を育成します。</p> <p>具体的には、英語、ドイツ語、フランス語等でのコミュニケーション能力を身につけるとともに、それぞれの言語で書かれた文学作品や諸言語文化研究を通じ、異文化に対する鋭い感性と深い分析力を鍛えます。さらに、ディスカッション・レポートや卒業論文作成により、多文化共生社会に対応しうる柔軟で論理的な思考能力の涵養、相対的で複眼的な視点の習得、明晰な論理構築と文章作成能力の鍛錬を行います。</p>	
<p>3. ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針・プログラムの到達目標）</p> <p>文学部は、「主として人文科学の分野における幅広い基礎学力と専門知識を有し、鋭い感性と客観的視点に基づいて現代社会を的確に見据え、その発展に貢献できる人間性豊かな個性的人材を養成すること」を教育の根本理念として掲げています。そして、この理念を具体化するために、「伝統的研究の成果と方法論を継承し、専門領域における基礎的研究を深化すること、新たな研究領域や学際的領域に常に注目し、幅広い研究を積極的に推進すること、現代社会に対する鋭い問題意識を常に持って、研究を活性化すること、外国語の運用能力を高めるとともに、専門領域の必要に即した情報処理能力を身につけること、絶え間ない自己改革を行う謙虚さ・柔軟性を養うこと、人類の歴史を学び、国際平和の精神を重視する姿勢を培うこと」という教育目標を定めています。</p> <p>本プログラムでは、文学部の掲げる教育理念と教育目標に基づき、以下の到達目標を掲げています。</p> <p>(1) アメリカ、イギリス、ドイツ、フランスの文学・語学・思想・芸術・文化、あるいは世界の諸言語に関する幅広い基礎学力と専門知識を修得する。</p> <p>(2) アメリカ・イギリス文学・英語学、ドイツ文学・ドイツ語学、フランス文学・フランス語学、言語学、それぞれの専門分野における先行研究に関する知識と方法論を修得する。</p> <p>(3) 各専門領域における基礎研究を深化させるとともに、現代社会にふさわしい新たな研究方法や理論を積極的に開拓しつつ、独創的な文学研究、諸言語に関する研究、文化研究を開拓する素養を身につける。</p> <p>(4) 幅広い視野に立って研究を深めていくだけでなく、口頭発表や論文を作成することで、自己表現力を身につける。</p> <p>この目標に到達するために編成された本プログラムの教育課程を終えて、学士（文学）を授与されるためには、学生には以下のことが求められます。</p> <p>(1) 学生は、所定の期間在学し、プログラムが設定した授業科目を履修して、所定の単位数を修得しなければ</p>	

ばならない。

(2) 学生は、原典・資料の収集、分析、批判的考察を通じて、人間文化に対する深い洞察力を培い、自ら卒業論文を作成して、提出しなければならない。

4. カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

本プログラムは、文学部の掲げる教育理念・教育目標及びプログラムの掲げる到達目標を実現するために、次の教育課程（カリキュラム）を編成・実施しています。

(1) 学生は、専門研究の基礎となる幅広い教養、外国語の運用能力、情報処理能力、平和を筆頭とする人類の課題を学際的にとらえる広い視野を修得するために、所定の教養教育科目を履修する。

(2) 学生は、2年次に教育プログラム・専門分野に配属され、各専門分野に関する基礎的知識と理解を修得するために、専門科目としての専門講義、専門演習を履修する。

(3) 学生は、3年次に原典読解力、資料調査能力、研究方法、論理的分析力を修得するために、少人数による参加型の専門演習科目（基礎演習・発展演習など）を履修する。

(4) 学生は、4年次に教員の指導の下に、独創的・複眼的な考察力と表現力を磨いて、自ら卒業論文のテーマを設定し、学士課程における勉学の集大成として卒業論文を作成する。

5. プログラムの開始時期・受入条件

開始時期：2年次から

受入条件：第1年次末に志望理由書及び学業成績により審査決定します。

ただし、光り輝き入試総合型選抜Ⅱ型により入学した学生は、原則として受験したプログラムへ配属されます。

6. 取得可能な資格

- ・中学校教員一種免許状（国語，社会，英語，ドイツ語，フランス語）
- ・高等学校教員一種免許状（国語，地理歴史，公民，英語，ドイツ語，フランス語）
- ・学芸員となる資格

7. 授業科目及び授業内容

※ 授業科目は、別紙1の履修表を参照。

※ 授業内容は、各年度に公開されるシラバスを参照。

8. 学習の成果

各学期末に、学習の成果の評価項目ごとに、評価基準を示し、達成水準を明示します。

各評価項目に対応した科目の成績評価をS=4, A=3, B=2, C=1と数値に変換した上で、加重値を加味し算出した評価基準値に基づき、入学してからその学期までの学習の成果を「極めて優秀(Excellent)」, 「優秀(Very Good)」, 「良好(Good)」の3段階で示します。

S（秀：90点以上）	4
A（優：80～89点）	3
B（良：70～79点）	2
C（可：60～69点）	1

学習の成果	評価基準値
極めて優秀(Excellent)	3.00～4.00
優秀(Very Good)	2.00～2.99
良好(Good)	1.00～1.99

本プログラムにおける学習成果の評価法についての詳細は、

※ 別紙2の評価項目と評価基準との関係を参照。

※ 別紙3の評価項目と授業科目との関係を参照。

※ 別紙4のカリキュラムマップを参照。

9. 卒業論文（卒業研究）（位置づけ，配属時期と方法）

○ 位置付け

卒業論文は，本プログラムの到達点と位置付け，卒業論文指導4単位，卒業論文8単位を必修とします。本プログラムでの学習成果を集大成し，自己の学習の到達水準を見極め，卒業後の更なる発展を促すことを目的とします。

○ 配属時期と作成方法

4年次前期に，各自が設定した研究テーマに基づいて卒業論文指導教員を定め，当該教員の指導を受けて10月末に題目を，1月末に論文を提出します。

10. 責任体制

P D C A責任体制（計画(plan)・実施(do)・評価(check)・改善(action)）

本プログラムの計画・実施・評価検討・対処は，欧米文学語学・言語学プログラム教員会が責任を持って行います。プログラム外からの評価検討・対処は，全学の教育質保証委員会が行います。

別表（細則第4条第3項関係）

文学部教育課程

卒業要件単位数 124単位（教養教育科目40単位，専門教育科目84単位）

教養教育科目

区分	科目区分		要修得単位数	授業科目	単位数	履修指定	標準履修(注1)					
							1年次					
							1セメ	2セメ	1T	2T	3T	4T
教養教育	平和基盤科目	平和科目	2		2	選択必修		○				
	大学教育基礎科目	大学教育入門	2	大学教育入門	2	必修	○					
		教養ゼミ	2	教養ゼミ	2	必修	○					
		展開ゼミ	(0)	(注3)	1	自由選択		○	○	○	○	
	共通科目	領域科目		20	(注2) (注5) (注8)	2	選択必修	○	○	○	○	
		外国語科目(注4)	英語	コミュニケーションⅠ	コミュニケーションⅠA	1	選択必修	○	○			
				コミュニケーションⅠB	1	○		○				
			コミュニケーションⅡ	コミュニケーションⅡA	1				○	○		
				コミュニケーションⅡB	1				○	○		
		上記4科目のうちから2科目以上										
		初修外国語	ドイツ語，フランス語，スペイン語，ロシア語，中国語，韓国語，アラビア語のうちから1言語選択	ベーシック外国語Ⅰ	1	必修	○	○	○	○		
				ベーシック外国語Ⅱ	1		○	○	○	○		
				ベーシック外国語Ⅲ	1		○	○	○	○		
				ベーシック外国語Ⅳ	1		○	○	○	○		
		英語または初修外国語(注6)	コミュニケーション基礎Ⅰ	1	選択必修	○	○					
			コミュニケーション基礎Ⅱ	1				○	○			
			インテンシブ外国語Ⅰ	1	選択必修	○	○					
インテンシブ外国語Ⅱ			1				○	○				
情報・データサイエンス科目		情報・データ科学入門(注7)(注8)	2	必修		○						
		(注7)	2	選択必修			○	○				
健康スポーツ科目		(0)	(注3)(注8)	1又は2	自由選択	○	○	○	○			
社会連携科目		(0)	(注3)(注5)	1又は2	自由選択	○	○	○	○			
基盤科目		(0)	(注3)	1～3	自由選択	○	○	○	○			
計		40										

注1： ○印は標準履修時期を表している。なお、当該ターム（またはセメスター）で単位を修得できなかった場合は、これ以降に履修することも可能である。授業科目により実際に開講するターム（またはセメスター）が異なる場合があるので、毎年度発行する教養教育科目授業時間割等で確認すること。なお、表中ではタームは「T」と表記する。

注2： 自然科学系科目群から2科目4単位以上及び人文社会科学系科目群から2科目4単位以上を選択履修すること。

注3： 展開ゼミ，健康スポーツ科目，社会連携科目または基盤科目を履修した場合は，領域科目を履修したものとみなす。

注4： 英語・初修外国語の履修については，外国語技能検定試験による単位認定制度もある。詳細は，教養「外国語科目」に関する項及び「外国語技能検定試験等による単位認定の取扱いについて」を参照すること。

注5： 要修得単位数を超えて修得した領域科目及び社会連携科目のうち，使用言語が「英語」の授業科目の単位は，英語の単位とすることができる。

注6： コミュニケーション基礎Ⅰ，Ⅱまたはインテンシブ外国語Ⅰ，Ⅱのどちらか2単位を修得すること。英語以外の外国語をさらに深く学びたい学生は，インテンシブ外国語Ⅰ，Ⅱを履修するのが望ましい。超過分の単位は，2単位まで領域科目の単位とすることができる。

注7： 情報・データサイエンス科目の履修については，2ターム開講の「情報・データ科学入門」を必ず修得し，「コンピュータ・プログラミング，知能とコンピュータ，データサイエンス基礎，ゼロからはじめるプログラミング，教育のためのデータサイエンス」の中から2単位を修得すること。超過分の単位は，2単位まで領域科目の単位とすることができる。

注8： 教育職員免許状を取得する場合は，領域科目「日本国憲法」2単位，情報データ・サイエンス科目「情報・データ科学入門」2単位及び健康スポーツ科目2単位を修得すること。詳細は，専門「教育職員免許状の取得について」を参照すること。

専門教育科目

欧米文学語学・言語学プログラム

区分	授業科目	開設期	単位	履修区分	備 考
専門基礎科目 26単位	入門科目	1・2	6	選択必修	超過分の単位は、2単位まで自由選択科目の単位とすることができる。
	人文学概説				文学部提供教育プログラム 共通科目群のもの。
	外国語科目（英語など）				
	比較文化A, B, C				
	日本・中国文学語学プログラムの概説・研究法の科目				
	ドイツ語中級会話演習I, II	1-8	10	選択必修	総合科学部開設の専門教育科目
	ドイツ語中級聴取法演習I, II				
	フランス語中級総合演習IA, IIA				
	フランス語中級会話演習I, II				
	フランス語中級総合演習IB, IIB				
	自由選択科目	1-8	10	選択必修	文学部・他学部の専門教育科目及びセンター等開設科目から選択すること。
専門科目 46単位	専門講義 欧米文学語学・言語学プログラムの概説・研究法の科目	3-8	46	選択必修	各人の志望する分野の専門科目を26単位以上履修すること。
	専門演習 欧米文学語学・言語学プログラムの基礎演習、発展演習の科目	3-8			
卒業論文科目 12単位	卒業論文指導A, B	7・8	4	必修	
	卒業論文	8	8	必修	
合計			84		

専門教育科目一覧

欧米文学語学・言語学プログラム

分野	区 分		科目コード	授 業 科 目	学期単位	開設単位	配当年次	授業形態	免許教科 ○包括の科目
英米文学語学	専門基礎科目		入門科目	BM0011 欧米文学語学・言語学入門	2	2	1	講義	
			基礎科目	BM0020 比較文化A	2	2	2	講義	○ 英語
	専門科目	専門講義	概説・研究法	BM2000 英文法	2	2	2	講義	○ 英語
				BM2010 英語学概論	2	2	3	講義	○ 英語
				BM2020 英語史	2	2	3	講義	英語
				BM2031 英語文体論	2	2	2	講義	○ 英語
				BM2040 英語音韻論	2	2	2	講義	英語
				BM2050 イギリス文学史講義A	2	2	2	講義	○ 英語
				BM2060 イギリス文学史講義B	2	2	2	講義	英語
				BM2072 イギリス小説講義	2	2	2	講義	
				BM2090 英文学批評講義	2	2	2	講義	
				BM2110 アメリカ文学史講義	2	2	2	講義	○ 英語
		BM2120 エスニック文学講義	2	2	3	講義	英語		
		BM2140 英語圏文学講義	2	2	2	講義	○ 英語		
		専門演習	基礎演習	BM4000 英語表現I(英会話)	2	2	2	演習	○ 英語
				BM4010 英語表現II(英会話)	2	2	2	演習	英語
				BM4020 英語表現演習 I (英作文)	2	2	2	演習	○ 英語
				BM4040 アメリカ詩文学演習A	2	2	2	演習	英語
				BM4050 アメリカ詩文学演習B	2	2	3	演習	英語
			BM4070 アメリカ文学演習	2	2	2	演習	英語	
			発展演習	BM5000 英語表現演習 II (クリエイティブ・ライティング)	2	2	3	演習	○ 英語
				BM5010 近代英語演習A	2	2	3	演習	英語
	BM5020 近代英語演習B			2	2	3	演習	英語	
	BM5030 イギリス小説文学演習A			2	2	3	演習	英語	
	BM5040 イギリス小説文学演習B	2		2	2	演習	英語		
	BM5041 イギリス戯曲演習	2	2	3	演習				
	BM5050 中期英語演習	2	2	3	演習	英語			
BM5060 イギリス詩文学演習A	2	2	3	演習	英語				
BM5070 イギリス詩文学演習B	2	2	3	演習	英語				
BM5101 近代アメリカ文学演習	2	2	3	演習					
BM5140 現代アメリカ文学演習	2	2	2	演習	英語				
BM5130 英語圏文学演習	2	2	3	演習	英語				
ドイツ文学語学	専門基礎科目		入門科目	BM0011 欧米文学語学・言語学入門	2	2	1	講義	
			基礎科目	BN0020 比較文化B	2	2	2	講義	○ ドイツ語
	専門科目	専門講義	概説・研究法	BN2052 ドイツ文学語学特別講義A	2	2	2	講義	
				BN2053 ドイツ文学語学特別講義B	2	2	2	講義	
				BN2023 ドイツ文学史	2	2	3	講義	○ ドイツ語
				BN2032 ドイツ語学講義	2	2	2	講義	○ ドイツ語
				BN2000 ドイツ文学講義	2	2	2	講義	○ ドイツ語
		専門演習	基礎演習	BN4011 ドイツ短編演習	2	2	2	演習	ドイツ語
				BN4020 ドイツ文学基礎演習A	2	2	2	演習	○ ドイツ語
				BN4030 ドイツ文学基礎演習B	2	2	2	演習	○ ドイツ語
				BN4040 ドイツ近現代語学演習A	2	2	2	演習	○ ドイツ語
				BN4050 ドイツ近現代語学演習B	2	2	2	演習	○ ドイツ語
	BN4080 ドイツ語会話基礎演習A	2	2	2	演習	○ ドイツ語			
	BN4090 ドイツ語会話基礎演習B	2	2	2	演習	○ ドイツ語			

専門教育科目一覧

欧米文学語学・言語学プログラム

分野	区 分		科目コード	授 業 科 目	学期単位	開設単位	配当年次	授業形態	免許教科 ○包括的科目	
ドイツ文学語学	専門科目	専門演習	発展演習	BN5020	ドイツ語学発展演習A	2	2	3	演習	
				BN5030	ドイツ語学発展演習B	2	2	3	演習	
				BN5120	ドイツ語学発展演習C	2	2	4	演習	○ドイツ語
				BN5130	ドイツ語学発展演習D	2	2	4	演習	ドイツ語
				BN5042	ドイツ語圏言語文化演習A	2	2	3	演習	○ドイツ語
				BN5043	ドイツ語圏言語文化演習B	2	2	3	演習	○ドイツ語
				BN5044	ドイツ語圏言語文化演習C	2	2	4	演習	
				BN5045	ドイツ語圏言語文化演習D	2	2	4	演習	
				BN5184	ドイツ近現代文学演習	2	2	3	演習	ドイツ語
				BN5140	ドイツ語圏文学語学発展演習A	2	2	3	演習	ドイツ語
				BN5150	ドイツ語圏文学語学発展演習B	2	2	3	演習	ドイツ語
				BN5141	ドイツ語圏文学語学発展演習C	2	2	4	演習	ドイツ語
				BN5151	ドイツ語圏文学語学発展演習D	2	2	4	演習	ドイツ語
BN5192	ドイツ文学理論演習	2	2	3	演習	ドイツ語				
フランス文学語学	専門基礎科目		入門科目	BM0011	欧米文学語学・言語学入門	2	2	1	講義	
			基礎科目	BO0020	比較文化C	2	2	2	講義	○フランス語
	専門科目	専門講義	概説・研究法	BO2000	フランス文学史A	2	2	2	講義	○フランス語
				BO2010	フランス文学史B	2	2	2	講義	○フランス語
				BO2020	フランス文学史C	2	2	2	講義	○フランス語
				BO2031	フランス語学講義	2	2	2	講義	フランス語
				BO2051	フランス文学講義A	2	2	2	講義	フランス語
				BO2052	フランス文学講義B	2	2	3	講義	フランス語
				AHL121	フランス語学研究*	2	2	2	講義	フランス語
				BO2061	現代フランス文学序説A	2	2	2	講義	フランス語
				BO2062	現代フランス文学序説B	2	2	3	講義	フランス語
		専門演習	基礎演習	BO4000	フランス文学基礎演習I	2	2	2	演習	フランス語
				BO4010	フランス文学基礎演習II	2	2	2	演習	フランス語
				BO4020	フランス語作文A	2	2	2	演習	フランス語
				BO4030	フランス語作文B	2	2	3	演習	フランス語
			発展演習	BO5000	フランス語会話A	2	2	3	演習	○フランス語
				BO5010	フランス語会話B	2	2	4	演習	○フランス語
				BO5020	フランス語コミュニケーションA	2	2	3	演習	○フランス語
				BO5030	フランス語コミュニケーションB	2	2	4	演習	○フランス語
				BO5041	フランス語学特別演習A	2	2	3	演習	○フランス語
	BO5042	フランス語学特別演習B	2	2	4	演習	○フランス語			
	BO5050	フランス語中級文法A	2	2	3	演習	○フランス語			
	BO5060	フランス語中級文法B	2	2	4	演習	○フランス語			
	BO5070	近代フランス文学演習A	2	2	3	演習	フランス語			
	BO5080	近代フランス文学演習B	2	2	4	演習	フランス語			
	BO5090	20世紀フランス文学演習A	2	2	3	演習	フランス語			
	BO5100	20世紀フランス文学演習B	2	2	4	演習	フランス語			
	BO5110	フランス文化論演習A	2	2	3	演習	フランス語			
	BO5120	フランス文化論演習B	2	2	4	演習	フランス語			
	BO5130	日仏比較文化論演習A	2	2	3	演習	フランス語			
BO5140	日仏比較文化論演習B	2	2	4	演習	フランス語				
BO5150	現代フランス文学演習A	2	2	3	演習	フランス語				
BO5160	現代フランス文学演習B	2	2	4	演習	フランス語				
言語学	専門基礎科目		入門科目	BM0011	欧米文学語学・言語学入門	2	2	1	講義	
	専門科目	専門講義	概説・研究法	BP2001	言語学概説	2	2	2	講義	
				BP2021	一般・理論言語学概説A	2	2	2	講義	
				BP2031	一般・理論言語学概説B	2	2	2	講義	
				BP2041	一般・理論言語学研究法A	2	2	2	講義	
				BP2051	一般・理論言語学研究法B	2	2	2	講義	
				BP2101	歴史言語学概説	2	2	2	講義	
				BP2121	歴史言語学研究法	2	2	3	講義	
				BP2141	個別言語学概説A	2	2	2	講義	

専門教育科目一覧

欧米文学語学・言語学プログラム

分野	区 分		科目コード	授 業 科 目	学期単位	開設単位	配当年次	授業形態	免許教科 ○包括的科目
言語学	専門講義	概説・研究法	BP2151	個別言語学概説B	2	2	3	講義	
			BP2152	個別言語学概説C	2	2	4	講義	
			BP2160	個別言語学講義A	2	2	2	講義	
			BP2170	個別言語学講義B	2	2	3	講義	
			BP2180	個別言語学講義C	2	2	4	講義	
	専門演習	基礎演習	BP4002	一般言語学基礎演習	2	2	2	演習	
			BP4121	歴史言語学演習	2	2	2	演習	
			BP4141	個別言語学基礎演習	2	2	2	演習	
		BP4161	個別言語学演習	2	2	2	演習		
		発展演習	BP5141	一般言語学演習	2	2	2	演習	
			BP5121	比較・対照言語学演習A	2	2	2	演習	ドイツ語
BP5131	比較・対照言語学演習B		2	2	2	演習			
共通	卒業論文科目		BX5100	卒業論文指導A	2	2	4	演習	
			BX5200	卒業論文指導B	2	2	4	演習	
			BX5500	卒業論文	8	8	4	演習	

*は総合科学部開設科目

欧米文学語学・言語学プログラムにおける学習の成果
評価項目と評価基準との関係

学習の成果		評価基準		
評価項目		極めて優秀(Excellent)	優秀(Very Good)	良好(Good)
知識・理解	(1) 課題を学際的・総合的にとらえる広い視野の習得	諸課題をいろいろな視点から考案的に理解することができる。	諸課題をいろいろな視点から考え理解することができる。	諸課題をいろいろな視点から考えることができる。
	(2) イギリス・アメリカ、ドイツもしくはフランスの文学・語学・思想・芸術・文化、または世界の諸言語に関する基本的理解	イギリス・アメリカ、ドイツもしくはフランスの文学・語学・思想・芸術・文化、または世界の諸言語に関する基本的理解をもって、自己の分野においてそれらを活用することが可能である。	イギリス・アメリカ、ドイツもしくはフランスの文学・語学・思想・芸術・文化、または世界の諸言語に関する基本的事項は習得しており、より発展的な理解が可能である。	イギリス・アメリカ、ドイツもしくはフランスの文学・語学・思想・芸術・文化、または世界の諸言語に関する基本的事項について理解している。
	(3) イギリス・アメリカ、ドイツもしくはフランスの文学と語学、または言語学に関する基礎的知識の習得	イギリス・アメリカ、ドイツもしくはフランスの文学と語学、または言語学に関する基礎的知識を習得しており、研究において、それらを有効に発揮することが可能である。	イギリス・アメリカ、ドイツもしくはフランスの文学と語学、または言語学に関する基礎的知識を習得しており、研究において、それらを有効に発揮できる可能性がある。	イギリス・アメリカ、ドイツもしくはフランスの文学と語学、または言語学に関する基礎的知識を習得している。
能力・技能	(1) 知的活動の基本となるスキルの習得	専門的な知識を習得するための基本的スキルを十分に活用することができる。	専門的な知識を習得するための基本的スキルを応用することができる。	専門的な知識を習得するための基本的スキルを使うことができる。
	(2) イギリス・アメリカ、ドイツもしくはフランスの文学と語学、または諸言語のテキストを読解する能力の習得	語句の意味、用法および文の構造、表現上の特色を理解し、作品内容を構成や展開に即して的確にとらえることができる。	語句の意味、用法および文の構造を理解し、作品内容を構成や展開に即してとらえることができる。	語句の意味、用法および文の構造を理解できる。
	(3) イギリス・アメリカ、ドイツもしくはフランスの文学と語学、または諸言語に関する資料調査能力の習得	辞書などの基本的文献を活用ことができ、必要に応じて文献を独力で調査する能力を習得している。	辞書などの基本的文献を活用ことができ、文献を調査する能力を習得している。	辞書などの基本的文献を活用することができる。
	(4) イギリス・アメリカ、ドイツもしくはフランスの文学と語学、または諸言語に関する研究の方法の習得	従来の研究方法を習得しており、自己の研究に応用し、独自の研究を展開できる可能性がある。	従来の研究方法を習得しており、自己の研究に応用することが可能である。	従来の研究方法を習得している。
	(5) イギリス・アメリカ、ドイツもしくはフランスの文学作品に表された感性と表現法を読み取る力、もしくは音声や文字・語彙・語法を分析する力、または諸言語を言語学的に分析する力の習得	作品に表現された作者の感性と表現法を読み取る力、もしくは音声や文字・語彙・語法を分析する力、または諸言語を言語学的に分析する力を習得しており、自己の研究に活用することができる。	作品に表現された作者の感性と表現法を読み取る力、もしくは音声や文字・語彙・語法を分析する力、または諸言語を言語学的に分析する力を習得しており、自己の研究に活用できる可能性がある。	作品に表現された作者の感性と表現法を読み取る力、もしくは音声や文字・語彙・語法を分析する力、または諸言語を言語学的に分析する力を習得している。
総合的な力	(1) 英語、ドイツ語またはフランス語などの表現力の習得	英語、ドイツ語またはフランス語などの表現力が豊かであり、自己の見解を説得力ある文章によって表現することができる。	英語、ドイツ語またはフランス語などの表現力を身につけており、自己の見解を表現することができる。	英語、ドイツ語またはフランス語などの表現力を身につけている。
	(2) イギリス・アメリカ、ドイツもしくはフランスの文学と語学、または諸言語に関する研究において、論理的思考力を身につけ、自分の意見を発表できる論文作成能力の習得	論理的思考力を身につけており、自分の意見を論理的に展開できるすぐれた論文作成能力を習得している。	論理的思考力を身につけており、自分の意見を論理的に展開できる論文作成能力を習得している。	論理的思考力を身につけており、自分の意見を発表することができる。
	(3) イギリス・アメリカ、ドイツもしくはフランスの文学と語学、または諸言語に関する研究において、従来の研究成果を踏まえて、独創性を発揮できる力の習得	当該の専門分野における従来の研究成果を幅広く習得しており、論文作成において独創性を発揮できる力を持っている。	当該の専門分野における従来の研究成果を習得しており、論文作成において独創性を発揮できる可能性がある。	当該の専門分野における従来の研究成果は習得しており、自己の論文作成に生かすことができる。
	(4) イギリス・アメリカ、ドイツもしくはフランスの文学と語学、または諸言語に関する研究において、イギリス・アメリカ、ドイツもしくはフランスなどの文化の特質、または相互の関係を考える力の習得	4年間の学習を通して総合的知識・能力を習得しており、イギリス・アメリカ、ドイツもしくはフランスなどの文化の特質、または相互の関係を独創的に考える力を備えている。	4年間の学習を通して総合的知識・能力を習得しており、イギリス・アメリカ、ドイツもしくはフランスなどの文化の特質、または相互の関係を考える力を備えている。	4年間の学習を通して総合的知識・能力を習得しており、イギリス・アメリカ、ドイツもしくはフランスなどの文化の特質、または相互の関係を考えることは可能である。
	(5) イギリス・アメリカ、ドイツもしくはフランスの文学と語学、または諸言語に関する研究において、自ら課題を設定し、問題を解決する能力の習得	4年間の学習を通して、自ら課題を設定し、問題を解決する能力を習得しており、すぐれた卒業論文を作成することができている。	4年間の学習を通して、自ら課題を設定し、問題を解決する能力を身につけており、一定の水準に達する卒業論文を作成することができている。	4年間の学習を通して、自ら課題を設定し、問題を解決する能力を身につけている。

主専攻プログラムにおける教養教育の位置づけ

本プログラムにおける教養教育は、専門領域における研究を行うために必要な基礎学力を身につけるとともに、さまざまな分野の研究の方法・成果・課題を学習して、専門研究に活用できる独創的な視点を養う。外国語の基礎学力を習得する。

欧米文学語学・言語学プログラムカリキュラムマップ

学習の成果 評価項目	1年		2年		3年		4年	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
(1) 課題を学際的・総合的 にとらえる広い視野の 習得	教養ゼミ (◎)							
	展開ゼミ (△)							
	大学教育入門 (◎)							
	平和科目 (○)							
領域科目 (○)								
(2) イギリス・アメリカ、ドイ ツもしくはフランスの文 学・語学・思想・芸術・ 文化、または世界の諸 言語に関する基本的 理解		欧米文学語学・言語 学入門 (○)	比較文化A (○)	英語圏文学講義 (○)		個別言語学概説B (○)		個別言語学概説C (○)
			比較文化B (○)	ドイツ文学講義 (○)		個別言語学講義B (○)		個別言語学講義C (○)
			比較文化C (○)	個別言語学概説A (○)				
			ドイツ文学語学特別 講義A (○)	個別言語学講義A (○)				
			ドイツ文学語学特別 講義B (○)					
		言語学概説 (○)						
(3) イギリス・アメリカ、ドイ ツもしくはフランスの文 学と語学、または言語 学に関する基礎的知 識の習得		欧米文学語学・言語 学入門 (○)	英文法 (○)	英文学批評講義 (○)	エスニック文学講義 (○)	英語史 (○)		
			英語音韻論 (○)	フランス語学講義 (○)	現代フランス文学序 説B (○)	フランス文学講義B (○)		
			イギリス文学史講義 A (○)	フランス語学研究 (○)	ドイツ文学史 (○)			
			アメリカ文学史講義 (○)	フランス文学講義A (○)				
			ドイツ語学講義 (○)	歴史言語学概説 (○)				
			フランス文学史A (○)	イギリス文学史講義 B (○)				
			フランス文学史B (○)					
			フランス文学史C (○)					
			現代フランス文学序 説A (○)					
			一般・理論言語学概 説A (○)					
			一般・理論言語学概 説B (○)					
		一般言語学基礎演習 (○)						
		歴史言語学演習 (○)						

欧米文学語学・言語学プログラムカリキュラムマップ

学習の成果 評価項目	1年		2年		3年		4年	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
(1) 知的活動の基本となる スキルの習得	コミュニケーションⅠ (◎)	コミュニケーションⅡ (◎)	フランス文学基礎演習Ⅰ (○)	フランス文学基礎演習Ⅱ (○)	フランス語中級文法A (○)		フランス語中級文法B (○)	
	ベーシック外国語 (○)							
	コミュニケーション基礎Ⅰ (○)	コミュニケーション基礎Ⅱ (○)						
	インテンシブ外国語 (○)							
	情報・データ科学入門 (◎)	情報・データサイエンス科目 (○)						
(2) イギリス・アメリカ、ドイツもしくはフランスの文学と語学、または諸言語のテキストを読解する能力の習得			ドイツ文学基礎演習A (○)	アメリカ詩文学演習A (○)	近代英語演習A (○)	近代英語演習B (○)	近代フランス文学演習B (○)	20世紀フランス文学演習B (○)
			ドイツ語会話基礎演習A (○)	アメリカ文学演習 (○)	イギリス小説文学演習A (○)	中期英語演習 (○)		現代フランス文学演習B (○)
			フランス文学基礎演習Ⅰ (○)	イギリス小説文学演習B (○)	イギリス戯曲演習 (○)	20世紀フランス文学演習A (○)		
			個別言語学基礎演習 (○)	ドイツ文学基礎演習B (○)	イギリス詩文学演習B (○)	現代フランス文学演習A (○)		
				ドイツ語会話基礎演習B (○)	近代フランス文学演習A (○)	イギリス詩文学演習A (○)		
				フランス文学基礎演習Ⅱ (○)				
				イギリス小説講義 (○)				
(3) イギリス・アメリカ、ドイツもしくはフランスの文学と語学、または諸言語に関する資料調査能力の習得				ドイツ短編演習 (○)				
				比較・対照言語学演習A (○)				
(4) イギリス・アメリカ、ドイツもしくはフランスの文学と語学、または諸言語に関する研究の方法の習得			英語文体論 (○)	個別言語学演習 (○)	ドイツ近現代文学演習 (○)	英語学概論 (○)	近代フランス文学演習B (○)	
				フランス文学講義A (○)	近代フランス文学演習A (○)	ドイツ文学理論演習 (○)		
						フランス文学講義B (○)		
(5) イギリス・アメリカ、ドイツもしくはフランスの文学作品に表された感性と表現法を読みとる力、英語、ドイツ語もしくはフランス語の音声や文字・語彙・語法を分析する力、または諸言語を言語学的に分析する力の習得				現代アメリカ文学演習 (○)	近代アメリカ文学演習 (○)	アメリカ詩文学演習B (○)	ドイツ語学発展演習C (○)	ドイツ語学発展演習D (○)
				一般・理論言語学研究法A (○)	英語圏文学演習 (○)	ドイツ語学発展演習B (○)	フランス語学特別演習B (○)	
				一般・理論言語学研究法B (○)	ドイツ語学発展演習A (○)	歴史言語学研究法 (○)	フランス語中級文法B (○)	
				一般言語学演習 (○)	フランス語学特別演習A (○)			
					フランス語中級文法A (○)			

能力・技能

欧米文学語学・言語学プログラムカリキュラムマップ

学習の成果 評価項目	1年		2年		3年		4年	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
(1) 英語、ドイツ語またはフランス語などの表現力の習得			英語表現I(英会話) (○)	ドイツ近現代語学演習A (○)	フランス語会話A (○)	フランス語作文B (○)	フランス語会話B (○)	フランス語コミュニケーションB (○)
			英語表現II(英会話) (○)	ドイツ近現代語学演習B (○)	フランス文化論演習A (○)	フランス語コミュニケーションA (○)	フランス文化論演習B (○)	日仏比較文化論演習B (○)
			英語表現演習I(英作文) (○)	フランス語作文A (○)		日仏比較文化論演習A (○)		
(2) 論理的思考力を身につけて、自分の意見を発表できる論文作成能力の習得				アメリカ文学演習 (○)	近代アメリカ文学演習 (○)	ドイツ語圏文学語学発展演習B (○)	ドイツ語圏文学語学発展演習C (○)	ドイツ語圏文学語学発展演習D (○)
				現代アメリカ文学演習 (○)	ドイツ語圏文学語学発展演習A (○)	英語表現演習II(クリエイティブライティング) (○)	卒業論文指導A (◎)	
(3) 従来の研究成果を踏まえて、独創性を発揮できる力の習得								卒業論文指導B (◎)
(4) イギリス・アメリカ、ドイツもしくはフランスなどの文化の特質、または相互の関係を考える力の習得					ドイツ語圏言語文化演習A (○)	ドイツ語圏言語文化演習B (○)	ドイツ語圏言語文化演習C (○)	ドイツ語圏言語文化演習D (○)
								卒業論文 (◎)
(5) 自ら課題を設定し、問題を解決する能力の習得								卒業論文 (◎)
	(例)	教養科目	専門基礎	専門科目	卒業論文	(◎)必修科目	(○)選択必修科目	(△)選択科目

欧米文学語学・言語学プログラム担当教員リスト

教 員 名	職 名	内 線	研究室	メールアドレス
今 林 修	教 授	6682	A363	imahaya@hiroshima-u.ac.jp
上 野 貴 史	教 授	6697	A359	tuen@hiroshima-u.ac.jp
大 地 真 介	教 授	6685	A365	ohchi@hiroshima-u.ac.jp
大 野 英 志	教 授	6678	A361	hideshi-ohno@hiroshima-u.ac.jp
P. チェイニ	教 授	6681	A362	cheyne@hiroshima-u.ac.jp
宮 川 朗 子	教 授	6692	A558	akikomiy@hiroshima-u.ac.jp
今 道 晴 彦	准教授	6690	A454	imamichi@hiroshima-u.ac.jp
尾 園 絢 一	准教授	6696	A358	jozono@hiroshima-u.ac.jp
C. シェレター	准教授	6689	A453	schelletter@hiroshima-u.ac.jp
O. セカルダン	准教授	6640	A559	secardin@hiroshima-u.ac.jp
松 永 京 子	准教授	6680	A366	kyokom@hiroshima-u.ac.jp
O. ロリヤール	准教授	6695	A556	lorrilla@hiroshima-u.ac.jp
松 本 舞	助 教	6676	A465	mmazmoto@hiroshima-u.ac.jp

※電話082-424-内線番号